

平成 2 1 年度事業報告

期日	内容
平成 21 年 7 月 21 日	同窓会メールマガジン 第 8 号 発行
平成 21 年 8 月 8 日	同窓会役員会開催 (ターミナルホテルフォロ・ロマーノ) (出席者) 役員: 14 名・大学: 4 名
平成 21 年 10 月 13 日	同窓会メールマガジン 第 9 号 発行
平成 21 年 10 月 17 日	『岐聖大通信「和」(やわらぎ)』送付
平成 21 年 12 月 6 日	大学祭コラボ企画 (卒業生へ金券プレゼント 3,900 円) 大学祭パンフレット広告協賛
平成 22 年 1 月 13 日	同窓会メールマガジン 第 10 号 発行
平成 22 年 3 月 15 日	同窓会入会式 (649 名入会) ※同窓生総数 13,871 名 (平成 22 年 8 月現在)
助成関係	<ul style="list-style-type: none"> ○大学謝恩パーティー助成 (100,000 円) ○卒業生の企画による OB 報告会等への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・なにわ岐聖会大阪教採説明会 30,000 円 ○同期会助成 (1,000 円/参加者 1 名あたり) <ul style="list-style-type: none"> ・3 期生同窓会 48 名参加 ・S55 卒業生 8 名参加 ・学校心理 23 名参加 ・石原先生の還暦を祝う会 38 名参加
後援関係	○教育実践科学研究センター

平成22年度役員（案）

役職	平成21年度		平成22年度	
	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度
会長	北島 博輝	平成 5 年度	北島 博輝	平成 5 年度
副会長	谷口 千賀子	昭和56年度	谷口 千賀子	昭和56年度
〃	今井 延幸	昭和63年度	今井 延幸	昭和63年度
庶務	岡崎 直樹	昭和63年度	岡崎 直樹	昭和63年度
〃	野川 三徳	平成 4 年度	野川 三徳	平成 4 年度
会計	山内 真由美	昭和50年度	森本 真	平成 8 年度
〃	森本 真	平成 8 年度	高橋 毅行	大学事務職員
会計監査	石樽 光子	昭和52年度	石樽 光子	昭和52年度
〃	若山 真澄	昭和62年度	若山 真澄	昭和62年度
顧問	渡辺 直美	昭和50年度	渡辺 直美	昭和50年度
〃	藤田 美千代	平成 8 年度	藤田 美千代	昭和50年度
〃	宮崎 真理子	昭和51年度	宮崎 真理子	昭和51年度
〃	牧野 淳子	昭和51年度	牧野 淳子	昭和51年度

	卒業年度	氏 名		
評議員	昭和50年度	西光寺 啓子	安藤 弘子	山内 真由美
〃	昭和51年度	谷中 洋子	安斎 明美	
〃	昭和52年度	加藤 ひろみ	野原 小夜子	
〃	昭和53年度	小寺 英子	倉地 和恵	早川 明美
〃	昭和54年度	大橋 喜美子	田中 朱実	津田 玲子
〃	昭和55年度	伊藤 妙子	福島 佳香	
〃	昭和56年度	五藤 里美		
〃	昭和57年度	伊藤 玉江	竹中 美幸	
〃	昭和58年度	赤尾 真由美	加藤 純子	堀 徳子
〃	昭和59年度	鷺見 典子	長谷川 真木	
〃	昭和60年度	永田 小百合	鈴木 恭子	
〃	昭和61年度	近藤 貴子	山内 康美	
〃	昭和62年度	小島 幸枝		
〃	昭和63年度	土師 功嗣	山田 治美	
〃	平成 元年度	石神 成司	渡辺 芳昭	
〃	平成 2 年度	城口 和幸	西川 明佳	
〃	平成 3 年度	鈴木 勝久	中西 茂治	
〃	平成 4 年度	宮川 浩司	舟橋 高	
〃	平成 5 年度	杉森 昭彦		
〃	平成 6 年度	秋山 寛之	三品 貴司	横山 雅人
〃	平成 7 年度	細川 泰成	蕃 洋一郎	
〃	平成 8 年度	森 隆浩		
〃	平成 9 年度	内田 誠司	二村 大介	
〃	平成10年度	園部 喬	村地 巧美	

	卒業年度	氏 名		
評議員	平成11年度	北野 恵子	日比野 弘	
〃	平成12年度	森 公洋	森野 浩史	
〃	平成13年度	永井 宏昭	岩田 繭子	篠田 智史
〃	平成14年度	押野 ひろみ	中山 智美	長谷川 純也
〃	平成15年度	原 美香	大野 めぐみ	河野 圭吾
〃	平成16年度	神宮寺 秀明	間野 正裕	森本 一永
〃	平成17年度	長堀 真人	川島 由莉	板津 徳彦
〃	平成18年度	坂崎 真理子	堀田 研二	加藤 万穂
〃	平成19年度	米澤 正憲	伊東 沙織	安江 侯毅
〃	平成20年度	坂井田 耕平	伊藤 千晶	富永 明洋
〃	平成21年度	曾田 裕也	望月 雄介	三宅 弘祐

平成22年度事業計画(案)

平成22年	4月	卒業者名簿発行（H21年度卒業生のみ記載）
平成22年	4月	同窓会メールマガジン 第11号 発行
平成22年	8月	同窓会役員会 開催
平成22年	8月	同窓会メールマガジン 第12号 発行
平成22年	10月	『岐聖大通信「和」（やわらぎ）』送付
平成22年	12月	大学祭コラボ企画（卒業生へ模擬店利用券プレゼント）
平成22年	12月	同窓会メールマガジン 第12号 発行
平成23年	3月	同窓会入会式・卒業者名簿（H22年度卒業生のみ記載）発行 同窓会メールマガジン 第13号 発行

平成22年度助成計画(案)

- ①大学学生県人会（15,000円／1件あたり）
- ②大学謝恩パーティー（100,000円）
- ③卒業生主催の同窓会（1,000円／参加者1名あたり）
- ④卒業生の企画によるOB報告会・教員養成講座 等 卒業生の旅費・謝礼の補助
- ⑤サークル活動への助成

同期会助成の変更について

- ・クラス会や地区会等に限定している同期会の助成を、サークルの OB・OG 会などを含めた「卒業生の集まり」に範囲を広げて助成を行うことにより、活発な卒業生同士の交流を促す。
- ・平成19年から同期会助成を1人あたり1,000円とし、昨年度は117,000円の助成を行った。この変更により今後爆発的に増加することは考えにくいですが、毎年年間予算に助成にあてる上限総額を決めておき、年間申請額の合計が上限に達した場合、年度内の申請を受理しないことにより、助成金額が多くなっても予算内で対応できると考える。

[同窓会への助成について]

※ここでの「同窓会」は本学同窓会組織ではなく、卒業生の集まりを表現しています。

1. 同窓会は次の卒業生の集まりを指します。
 - (1) 学年、学部、専修・専攻・学科が同じ卒業生の集まり（クラス会など）
 - (2) 出身地または現住所の地区が同じ卒業生の集まり（地区会など）
 - (3) 複数の卒業時期で同じゼミの卒業生の集まり（ゼミ会など）
 - (4) 在学時に同じサークル・同好会の卒業生の集まり（サークルの OB・OG 会）
 - (5) 現在の業種が同じまたは勤務地が同じ卒業生の集まりまた、これらの集まりを行う際に、連絡可能な卒業生全員に通知を行っているものを対象とします。
2. 申請には代表者が以下のものを揃えて同窓会事務局に提出してください。
 - ・助成金申請用紙（別紙1）
 - ・同窓会の案内状（ハガキのコピーなど）
 - ・同窓会報告用紙（別紙2）
 - ・同窓会の案内状送付者名簿
 - ・出席者の集合写真（人数が確認できるもの）
3. 助成金は出席者1名につき1,000円とします。人数は報告書に添付していただく集合写真で確認しますので、必ず出席者全員がそろっている写真を提出してください(写真は返却できません)。
4. 助成金の申請限度は1年度内に1回とします。
5. 申請は同窓会が行われてから6ヶ月以内に申請してください。期限を過ぎた場合、申請しても受付できません。
6. 同窓会助成は先着順申請とし、年額予算内で助成を行うため、申請合計金額が年額予算の上限に達した場合、当該年度の助成を打ち切ります。
7. 次の場合、申請があっても助成を取り消す場合があります。
 - ・申請書類に不備がある場合
 - ・不正な申請があった場合
8. この助成は平成22年4月1日以降に開催される同窓会に適用します。